



自民党・無所属 大阪府議団だより



いまにし 今西かずき議員が 総務常任委員会で質問

今西議員は10月12日(2016年)に開かれた総務常任委員会において、関西国際空港の新体制の運営状況や大阪SACHICO(性暴力救援センター)について質問しました。

**大阪市福島区・
此花区選出**

プロフィール
私立清風高校 卒業。関西学院大学文学部 卒業。産経新聞社会部記者として勤務。衆議院議員政策担当秘書として勤務。現大阪府議会議員。副政務調査会長。総務常任委員。

阪神なんば線 淀川橋梁 架け替え決定! 現場主義

「水面すれすれ橋」のかさ上げ問題、大きく前進



今西議員の地元、此花区と西淀川区にかかる阪神なんば線の「淀川橋梁」(758メートル)の架け替え事業に関し、国土交通省と大阪府・大阪市、阪神電鉄で作る協議会が1月11日に開かれ、事業着手の方針が決まりました。水面すれすれの橋梁

のかさ上げと耐震補強などにより、津波、高潮洪水対策の向上につながります。

1 今西議員、早期実現へと何度も現場に足を運び、関係部局への訴え実る!

かねてから「淀川橋梁」のかさ上げ問題は地元にとって長年の懸案・悲願であり、今西議員は今回の架け替え(かさ上げ)工事の早期実現を目指し、現場へ何度も足を運び、関係部局へ訴えてきました。

2 此花区・福島区の未来のために…地震による津波、洪水、高潮対策が急務

現在地より下流側に堤防より約3メートル高い橋を架ける案で、着工から約15年で完成を目指すとして、今後、今西議員はできる限りの工期の短縮を関係組織に訴え、架け替えの完成後は、津波浸水時に全住民を収容できる避難施設の設備が必要と考えています。

性暴力救援センター・大阪SACHICOへの支援

具体的な被害者支援活動について

Q. 今西議員 性暴力救援センター・大阪SACHICO(性犯罪被害者のためのワンストップ支援センター)のような民間の支援団体に対して、府は具体的にどのような支援をすべきと考えているのか。

A. 治安対策課長 全国初の病院拠点型ワンストップ支援センターとして、大阪SACHICOの優れた取り組みが持続していけるよう、相談体制の維持や協力医療機関とのネットワークの強化、府民への周知啓発など、行政として必要な支援を行ってまいります。

SACHICOへの財政支援

松井知事の「国の動きを見極めつつ」…ではなく、府がしっかり支援すべき!

Q. 今西議員 国ではワンストップ支援センターに対する財政支援措置を検討中だが、松井知事は「今後の国の動きを見極めつつ」という答弁であった。性犯罪の厳しい状況を踏まえると、仮に国の財政支援がつかなかった場合でも、府はしっかりと単独で支援すべきだ。

A. 治安対策課長 国の方では財務省との予算折衝はまだこれからで交付金の内容等も示されておらず、現時点では府の支援も具体的には申し上げられません。しかし東京と並ぶ厳しい性犯罪等の状況を踏まえると被害者支援は不可欠と考えており、引き続き、性犯罪被害者の支援を進めていきます。

➔ 2月議会で関連予算案が提案されました。



インバウンド増に伴う受け入れ体制の強化について 関空のインバウンド対策への取り組みは?

Q. 今西議員 インバウンドの増加により、入国での待ち時間が課題になっている。到着時の長い待ち時間に到着後に訪日のイメージが悪くなる。入国受け入れ体制の改善に向けた取り組みについて問う。

A. 空港・広域インフラ課長 入国審査体制の強化について、法務省や国土交通省等へ強く要望した結果、入国審査官の増員、入国審査ブースの増加、入国時間の待ち時間に顔写真等の識別情報を事前に識別できる最新機器の導入など、改善に対応いただいています。今後とも引き続き改善を求めてまいります。